

決算説明資料

2019年3月期第1四半期



Listed Company 4241

2018年8月
株式会社アテクト

2019年3月期第1四半期 業績総括



Listed Company 4241

全社連結業績

atect

(百万円)

	2018年3月期 第1四半期	2019年3月期 第1四半期	増減額	前年同期比
売上高	655	699	44	6.8%
営業利益	30	57	26	86.1%
	4.7%	8.2%		
経常利益	18	51	32	174.0%
	2.8%	7.3%		
第1四半期 純利益	13	34	21	153.1%

売上高6.8%増収、営業利益86.1%増益、経常利益174.0%増益

セグメント別業績

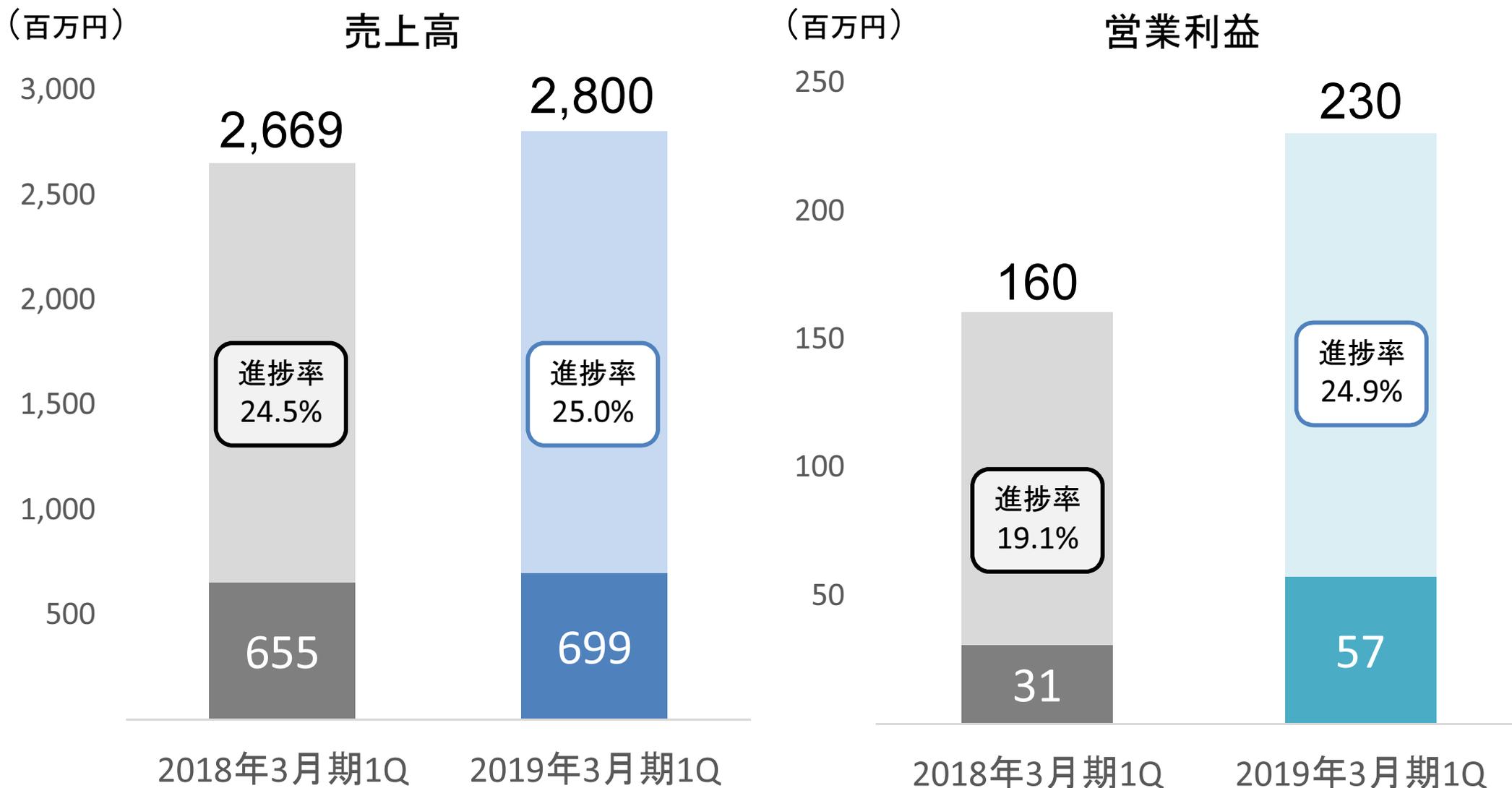
atect

(百万円)

	半導体資材事業			衛生検査器材事業			P I M事業		
	2018年 3月期1Q	2019年 3月期1Q	増減	2018年 3月期1Q	2019年 3月期1Q	増減	2018年 3月期1Q	2019年 3月期1Q	増減
売上高	239	289	21.0%	390	393	0.9%	28	16	-41.0%
売上 総利益	109	131	19.6%	180	185	3.0%	15	8	-47.1%
	45.9%	45.4%	-	46.2%	47.2%	-	54.3%	48.7%	-
営業利益	8	31	284.9%	14	21	47.3%	7	3	-51.9%
	3.4%	11.0%	-	3.8%	5.5%	-	27.4%	22.4%	-

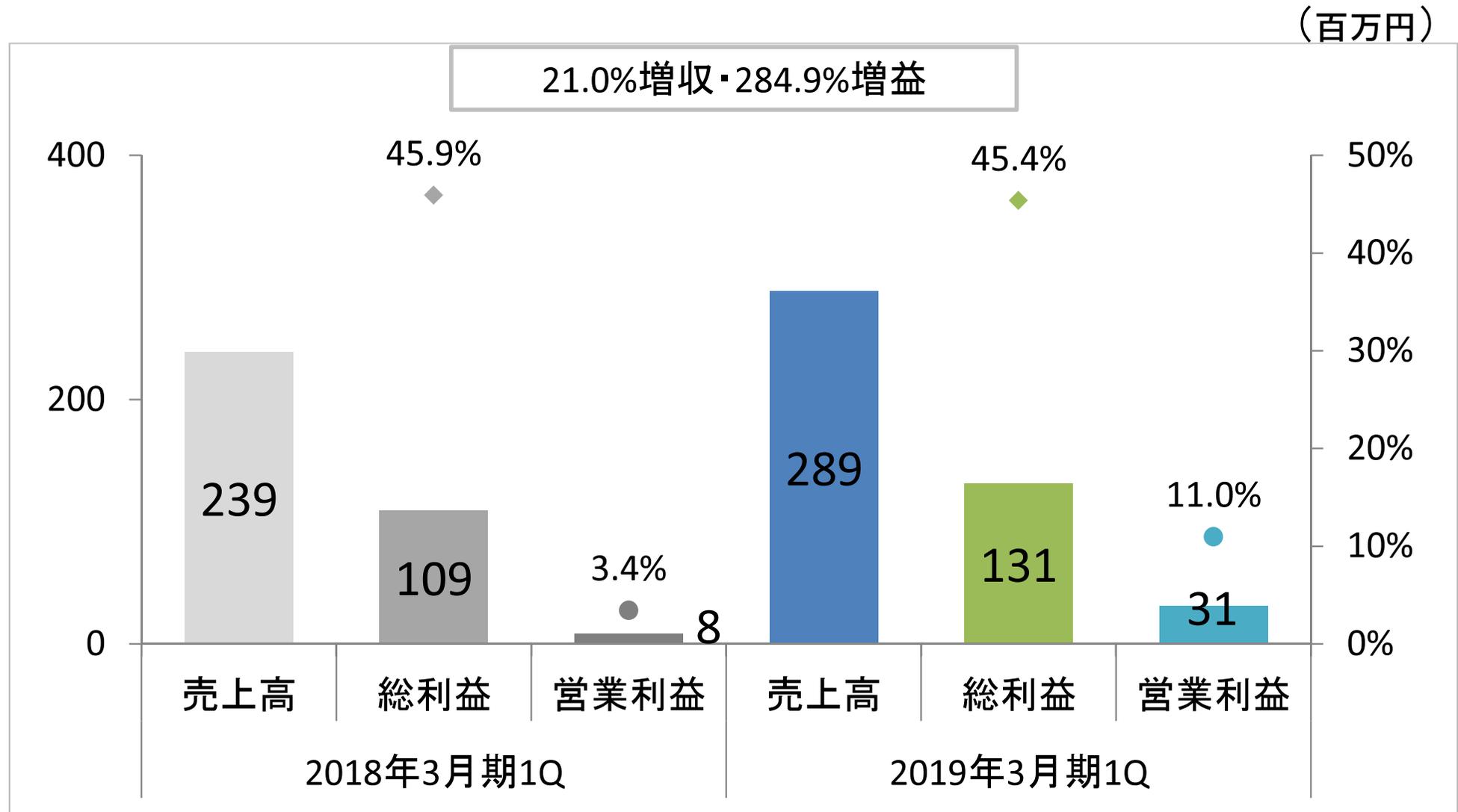
半導体資材事業・衛生検査器材事業共に増収・増益

今期計画に対する進捗



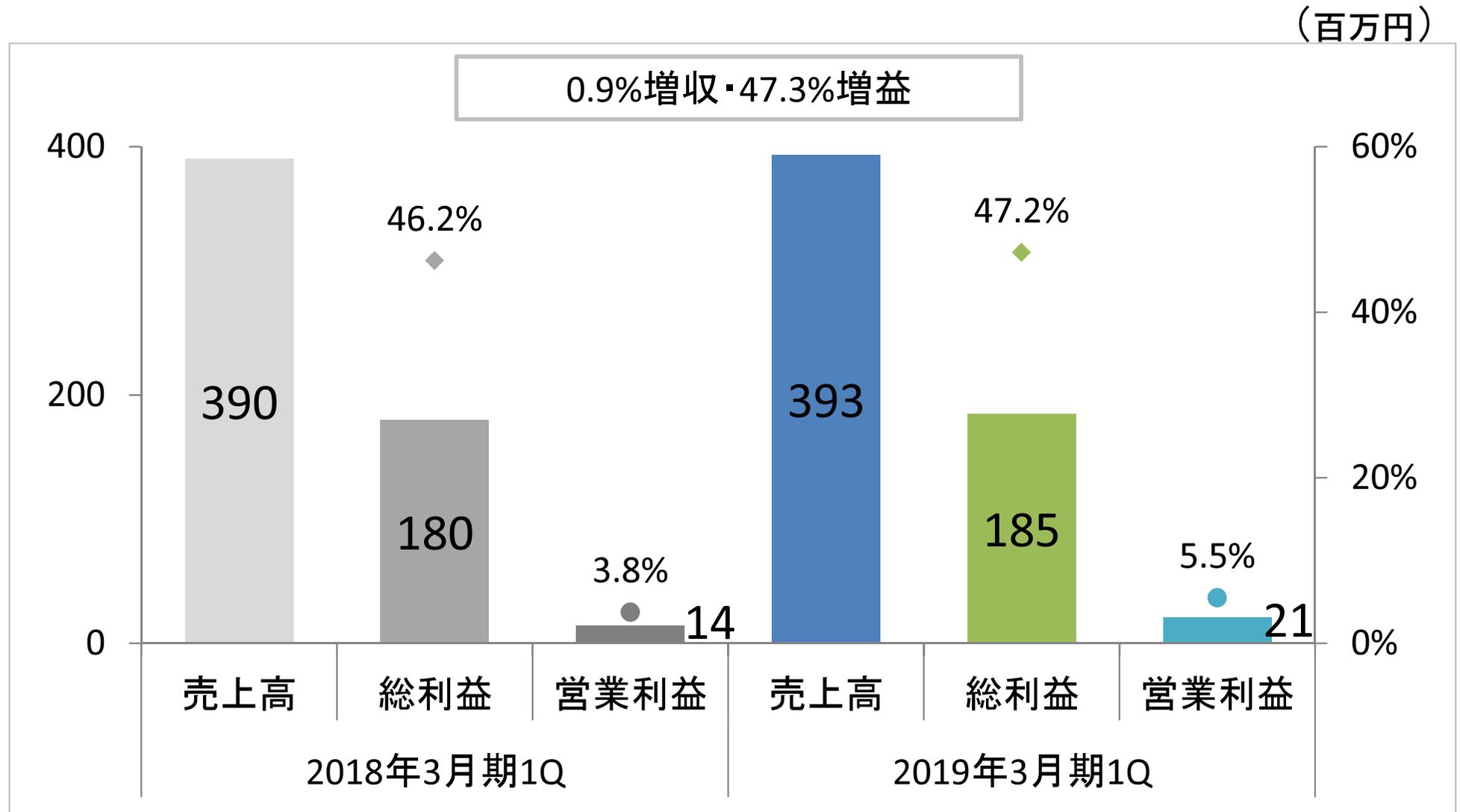
半導体資材事業が牽引役となり通期業績予想に対して順調な滑り出し

セグメント別業績(半導体資材)



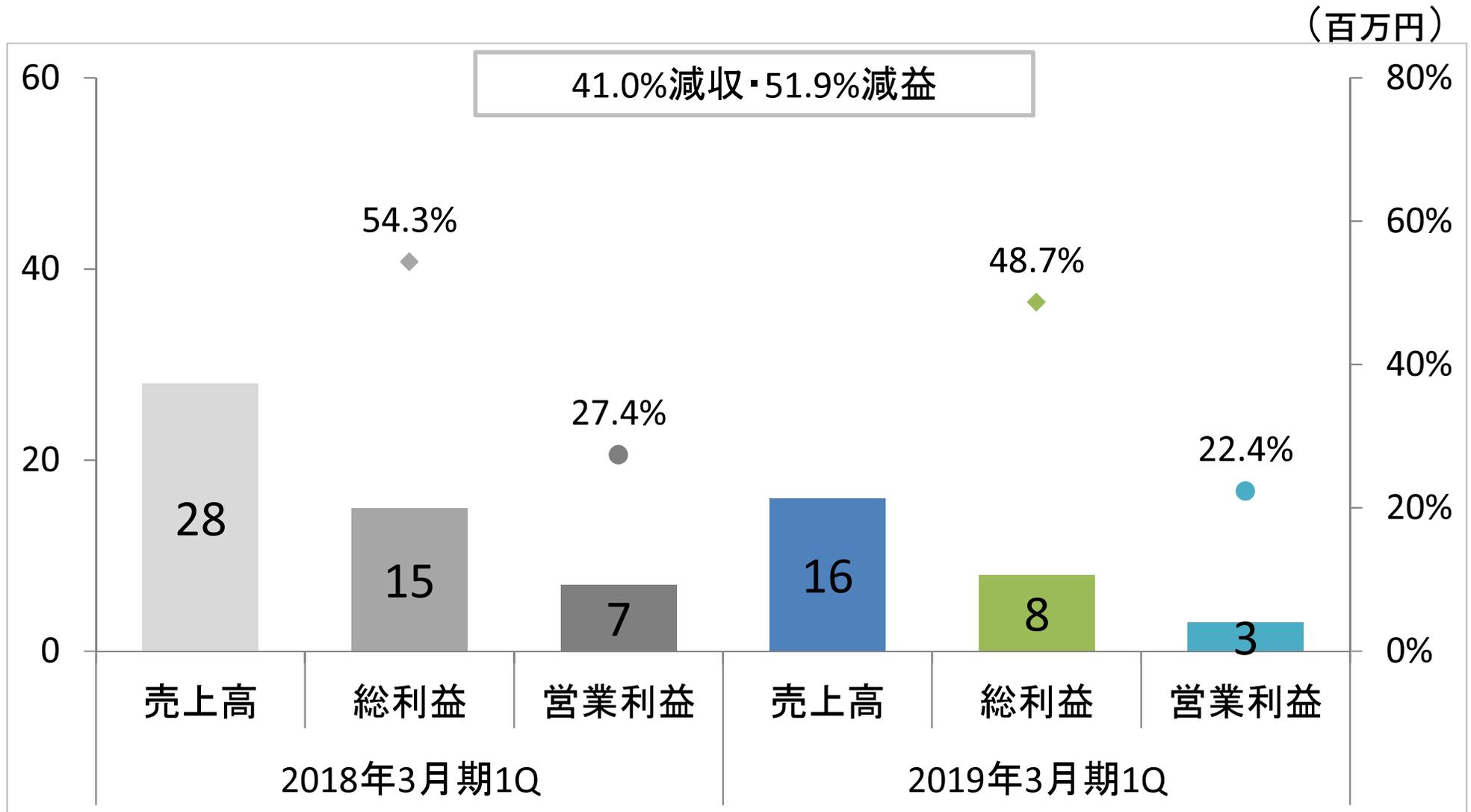
買替需要及び4Kテレビ比率拡大により
2007年の地デジ切替時の最大生産量に迫る勢いで伸長中

セグメント別業績(衛生検査器材)



安定した売上、利益を堅持⇒営業体制の仕組みを一新し拡販体制強化

セグメント別業績(PIM)



拡大3大アイテムの開発及び新工場立上げに特化したため減収となったが、下期に向け製販一体の拡販体制を構築し通期売上高は過去最高の見込み

今期の取組みについて

○最低必達目標:2021年3月期までに売上高30億円、営業利益3億円(営業利益率10%)以上

○新工場建設に伴う大型投資を早急に回収

⇒EBITDA(営業利益+減価償却費)の最大化と投資抑制を実行

PIM事業

従来のカメラ部品やその他PIM製品に加え、新たに直動型ベアリング、内視鏡部品、高付加価値(複雑・高精度・新素材)部品等の新規受注活動を開始

※量産時期、売上規模については確定次第開示予定

販売を抑制していた、高性能バインダー及びフィードストック等の材料販売において、将来、当社が狙う市場と競合しない顧客を棲み分け、積極的に販売に転じる

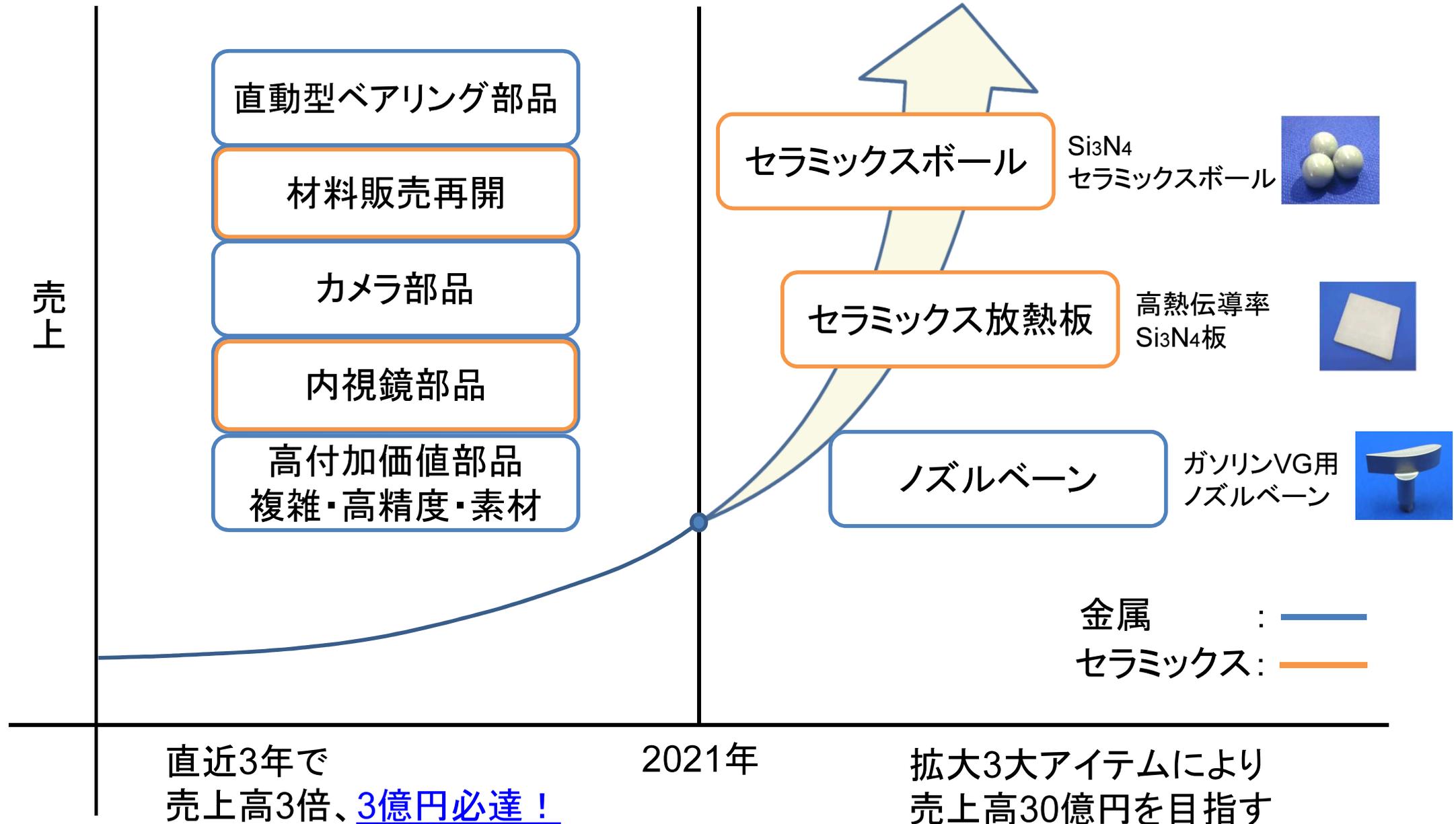
衛生検査器材事業

営業戦略企画部を中心に、①安定継続顧客の堅持(失注の防止)②受注が途切れていた顧客の復活③新規顧客獲得の3つの視点から営業部内の機能、役割を細分化し、効率的な営業活動を展開すべく、新たな仕組みを構築中

半導体資材事業

世界No.1のスペーサーテープメーカーとして、日本、韓国双方で現有設備において投資無しで生産能力のもう一段の増強を敢行し、拡大するテレビ市場に対応可能な強固な生産体制を構築

PIM事業商品ロードマップと売上高イメージ



免責事項

当資料に掲載されている業績見通し、その他今後の予測・戦略などに関する情報は、当資料の作成時点において、当社が合理的に入手可能な情報に基づき、通常予測し得る範囲内で行った判断に基づくものです。

しかしながら実際には、通常予測し得ないような特別事情の発生または通常予測し得ないような結果の発生などにより、当資料記載の業績見通しとは異なる結果を生じ得るリスクを含んでおります。

当社は、投資家の皆様にとって重要と考えられるような情報について、その積極的な開示に努めてまいります。当資料記載の業績見通しのみにより全面的に依拠してご判断されることはくれぐれもお控えになられるようお願いいたします。

なお、いかなる目的であれ、当資料を無断で複製、転送等をおこなわれぬようお願いいたします。

本資料に関するお問い合わせ

株式会社アテクト 経営企画部 IR担当

TEL:0748-20-3400

E-mail:ir@atect.co.jp